



やまゆり

学校だより

令和5年2月24日
87号
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行するー
校内研究主題 「WEBQUを活用し学級の安定と活性化を図る」

学校教育重点目標 「 地 域 連 携 」

「道志村通学路安全推進協議会」を開催しました

2月20日(月)に、「道志村通学路安全推進協議会」を開催しました。会議は、「やまゆりセンター」で行い、「現地」で実態調査を行いました。学校では、今後も危険が予測される個所については、特に安全指導を徹底したいと思います。また、今後も教育委員会を通して、各行政に安全対策の要請を継続し、少しでも危険が改善されるようにしたいと思います。ご家庭での安全教育もよろしくお願い致します。

道志村通学路安全推進協議会の委員

- | | | | |
|-------------|---------|--------------|--------------------|
| ①富士・東部建設事務所 | 川窪 雅忍さん | ②大月警察署 道志出張所 | 深澤 建己さん |
| ③道志小学校長 | 佐藤 龍文さん | ④小学校PTA会長 | 山口 正幸さん |
| ⑤道志中学校校長 | 杉本 賢二 | ⑥中学校PTA会長 | 佐藤 隆光さん |
| ⑦道志村産業振興課課長 | 山口 俊一さん | ⑧道志村産業振興課 | 佐藤 好起さん |
| ⑨安全協会担当 | 田代 一登さん | ⑩大月警察署 | 櫻林 圭太さん
萩原 興治さん |

今回の「通学路の合同安全点検の対象箇所

- | | |
|---------------|-----------------------------------|
| ① (新規) 県道24号 | 東神地地区の道路の幅が急に狭くなっている |
| ② (継続) 国道413号 | 下善之木地区 バス停周辺の歩道が狭い |
| ② (継続) 国道413号 | 板橋地区 国道に歩道が無く、直線で車がスピードを出す |
| ④ (継続) 国道413号 | 白井平地区 神奈川方面からの車が見えにくい
カーブがあり危険 |

主な村全域での危険

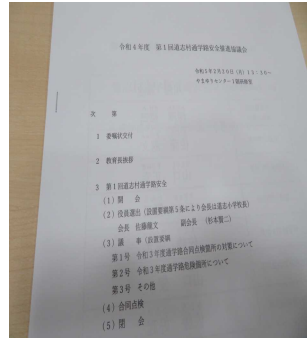
- 車やバイクがスピードを出すことによる危険度が高い
- 歩道や狭く、ガードレールが設置されていない

今後の対応 ① 学校や家庭での安全指導の徹底 ② 見守り活動の実施
③ スピードの取り締まりの実施 ④ 歩道・ガードレールの設置要望継続

教育委員会が主催で開催



次第・内容・構成委員



令和4年度道志村通学路安全推進協議会委員名簿

職名	氏名
議長・実行推進幹事	川種 雅志
大月警察署	たけし 雅巳
道志出張所	あさひ 龍文
道志小学校長	佐藤 龍文
小学校PTA会長	まごころ 正幸
道志中学校長	まごころ 賢二
中学校PTA会長	あさひ 隆光
道志村産業振興課長	あさひ 俊一
道志村産業振興課	佐藤 好起
交通安全協会代表	たけし 一登
大月警察署	まごころ 圭太
生活安全課	秋原 興治

1 (新規) 東神地地区の道路の幅員が狭い箇所
 ↓
 対応 ① 安全指導 ②村で木を切る対応



2 (継続) 下善之木地区 歩道が狭い
 ↓
 ①安全指導(車道を歩かないでバス停へ)



3 (継続) 板橋地区 国道に歩道が無く、
 車が直線でスピードを出すので危険
 ↓
 対応 ①安全指導 ②大月署で取締



4 (継続) 白井平地区
 神奈川方面からの車が見えにくい
 ↓
 対応 ①安全指導 ②村でカーブミラー設置



学校教育重点目標「生徒の良さを伸ばし、課題を解決するための連携」

早稲田大学の河村研究室から指導・助言を受けて校内研究をしています

2月22日(水)に早稲田大学の河村研究室から「高橋 幾^{いく}」先生に來校して頂き、各学年の教職員や校内研究会で指導・助言を頂きました。高橋先生には、本年度4回目の來校です。一学期から年間を通して、定期的に生徒の授業や活動の様子を見ながら指導をしていただいています。

本校の校内研究は、信頼性と妥当性の高い標準化検査WEBQUを活用して、個人と集団の実態に適切な指導を全職員で情報を共有しながら、協働実践する事によって教育成果を向上させるのが特徴です。

全校30名の小規模校ですが、生徒は内面にそれぞれの悩みや不安を持ちながら生活しています。生徒の状況をいち早く的確に捉え、学校の優先順位の1位で生徒との面談や相談をしながら、不安や緊張を低下させています。2年前の研究初期には、生徒の学級満足度は全国平均より2割高い状態でした。しかし、現在はほぼ全ての生徒の学級での満足度が保たれています。

本校では現在、生徒の「いじめの認知はありません」。また、「不登校の予防」、「安定を基盤に生徒の主体性の高い学習や特別活動」等によって「現代の教育課題」を改善しています。

QUは、全国の学校で約500万人の児童・生徒・高校生等に実施されています。しかし、そのデータを活用した教育実践を組織で実践することが難しいことが課題です。本校は、その課題を乗り越えQUの活用における「いじめや不登校防止」、「安定を基盤とした主体性の向上」、「教科指導での活用」など他校の参考になる教育活動を実践し、様々な方面から高く評価されています。

この実績は、生徒の努力と教職員の適切な組織対応、生徒の教育に役立つことが実感できるPTA活動等によって支えられています。

今後は、いよいよ受験、三贈会、卒業式、修学旅行等の大きな行事や節目を迎えます。最後まで、気を抜くことなくしっかりと努力を継続したいと思います。

高橋先生との学年相談の時間



2月22日(水)に各学年で50分ずつ、高橋先生と生徒の個人や集団等の指導について相談しました。私は校長として、約3時間各学年の相談や指導を記録しました。高橋先生からは、生徒が協働的に活動することができる成長や、教職員の指導力の向上を数多く指摘して頂きました。早稲田大学の河村教授が、昨年度コロナ禍で学校訪問をしたのは全国で本校のみでした。それは、本気で一生懸命研究に取り組んでいるからです。

学校教育重点目標「居心地良く、やる気のある学級・学校づくり」

三贈会にむけて、1・2年生が目的を明確にして合唱練習をしています

「3年生の想像を超える発表」をスローガンに、1・2年生が合唱練習に取り組んでいます。この活動の様子は、早稲田大学の高橋先生にも参観して頂きました。目標設定、リーダーシップ、フォロワーシップ、練習の工夫等、生徒や教職員の成長を評価して頂きました。

生徒会顧問 笠田先生



生徒会長 景己さん



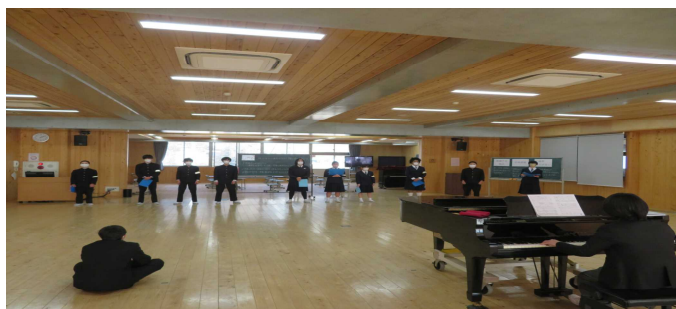
パート練習の様子



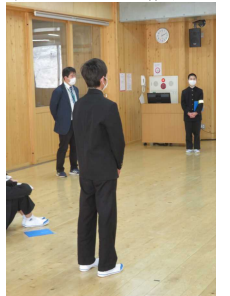
音程を確認する全体合わせ練習



パートを半分に分けて、それぞれ発表



主体的に意見発表 雅也さん・嶺さん・桜之朗さん 三代さんの真剣に取り組む姿に成果が凝縮



校内研究の様子(手前が高橋先生)



早稲田大学 高橋先生からの指導・助言

- 1 個人への対応がとても適切で、組織的。
- 2 集団の満足度の質の違いが明確に分かる実践
- 3 教職員の生徒の活動の見方・考え方が向上。
- 4 異学年・全校縦割り等の主体性が高い。
- 5 NRTの学力の個人データを指導に生かす。